

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学 校 名	富士市立高等学校	校 長 名	櫻井 祥行
-------	----------	-------	-------

評価	基 準	評価	基 準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生活習慣の確立	各学年、学期ごと朝読書に1度も遅刻しない生徒数85%以上	2学期末まで 1年生 1学期 81% 2学期 88% 2年生 1学期 73% 2学期 78% 3年生 1学期 81% 2学期 87%	教務 情報図書 保健環境 学年 C	朝読書は、大切な活動のひとつである。生活習慣を確立するためにも粘り強く指導していく必要がある。
ア	学校の安全安心	朝の交通街頭指導（年間150回以上）、自転車事故件数（昨年度より減）	交通指導カード R5 43件—R6 131件 （12月末） 自転車事故 R5 11件—R6 16件	生徒 C	交通街頭指導に関しては教員にも毎朝各3か所で指導しているが、数値は増えている。自転車事故に関しては自損事故が多い。大きな事故にはつながっていないが、継続的な指導を行っていく。
		情報交換会を毎週1回実施	24回開催（33週中） （1月22日現在）	教育相談 A	おおむね週1回開催できた。随時情報共有することで、各問題に事前に対応できた。
		学年別に実施する保健講座後の意識向上率20%	1年生 32.1%向上 2年生 89.9%向上 3年生 39.1%向上	保健環境 教育相談 A	女子よりも男子の向上率が高い。保健講座の内容については、生徒の実態を見ながら検討していく。
		「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒 85%	1年生 95.6% 2年生 95.3% 3年生 90.9%	教育相談 A	困っているときに相談できる人がいる環境ができている。今後も相談先に関する情報を提供したい。
		・いじめを理由とする不登校、転退学者ゼロ ・体罰ゼロ	・いじめを理由とする不登校転退学者数 0人 ・体罰 0件	教頭 教務 教育相談 A	スクールカウンセラーを活用し、相談に対して迅速に丁寧に対応した。また、外部機関と連携し生徒支援を行った。
		面接週間を年2回以上実施	学年初めの4月と長期休業明けの9月に開催	教育相談 A	主に、学年、学期のスタート時の情報共有に役立った。

様式第3号

ア	職員の健康増進	週3回午後8時以降に残留する職員の減少	令和6年度 84.7% 令和5年度 82.3% 令和4年度 83.6%	管理職 A	業務全体の見直しと効率化をさらに進める必要がある。
ア	学校未来プロジェクトの推進	「学校行事・部活動に満足している」生徒90%	・学校行事 94.8% (1年 95.8%, 2年 92.3%, 3年 96.2%) +2.5% ・部活動 88.4% (1年 87.4%, 2年 83.6%, 3年 94.3%) -4.4%	教頭 生徒学科 学年 部活動活性化 B	学校行事については、生徒中心の活動で満足度も各学年で上昇した。 部活動については、1・2年生の数値が低下。部活動地域移行等による生徒の変化に対応し、在り方等、検討していく。
		海外探究研修の充実（生徒の満足度90%）	総合探究科 87.6% ビジネス探究科 100.0% スポーツ探究科 100.0%	学科 学年 A	数年ぶりの海外探究研修であったが、集中研修を含め事前の研修を十分に行うことで、学科の特徴を生かした研修を実践できた。
イ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」3年生80%	令和6年度 89.1% 令和5年度 87.1% 令和4年度 84.1%	キャリア 学科 学年 A	学年が上がるにつれて、数値が上がっている。様々な取り組みの中で将来について考えるようになった。
		「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒60%	生徒アンケート結果 1年 76.6% 2年 83.2% 3年 86.7%	企画研究 学科 学年 A	R4 1年 69.7% R5 1年 73.0% 2年 80.8% 経年変化から本校での経験により、学びへの意欲が高まっていることが確認できる。
イ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	1年生への進路啓発行事年2回以上	アンケート結果 令和6年度 81.2% 令和5年度 75.5%	キャリア 学科 学年 A	土曜講座を活用して、様々な講師により進路啓発行事を行った。
		進学（四大100人以上）及び就職内定率(100%)	12月末現在 就職43（公務員1名の結果待ち） 合格数 国公立3 私立65 短大5 専門56	キャリア 学年 B	進路が多様化する中で、指導体制の確立を図り、全教員で3年生の進路実現をバックアップしている。
		全商簿記検定2級合格率70%	令和6年度 62.0% 令和5年度 47.5% 令和4年度 62.1%	商業科 B	目標達成することはできなかったが、自習室の利用が例年よりも多く、それが6割以上が合格という結果に繋がったと思われる。

様式第3号

		英語資格・検定試験の準2級以上の受験者150人、合格率40%	英検準2級以上の受験者：123名（3回目受験予定を含む） 合格率23/74人 （31%：2回目まで）	英語科 C	昨年度より第2回目の受験者数が減少している。英検への意識を高め、150人程度にしたい。合格率は昨年より上がっているものの、2級の合格率が5%と非常に低いことから、4技能を高めるための取り組みを通常の授業の中で進めて行く。
ウ	学習習慣の確立	週に5日以上、家で勉強している生徒60%	学校評価アンケート 1年33.5%、2年25.9% 3年42.7%、平均33.9% （前年比-2.4%）	教務 学年 C	「家で勉強する」習慣がない生徒が多く、テスト前が教室の自習室や図書室等を利用している。
		平均90分以上家庭学習を行う生徒、各学年50%以上	学習時間調査 1年27.5%、2年2.7%、 3年47.5%	教務 学年 C	テスト期間後の学習時間低下が著しく、継続した家庭学習習慣が定着できていない（1年）。
ウ	魅力ある授業実践と授業力向上	80%以上の生徒が「授業に満足している」と答えた教員80%以上	生徒授業アンケートの結果 R5 90.0% R4 91.3% R3 97.0% R2 94.1%	企画研究 教務 A	授業に関する詳細な質問については「板書（スライド）やプリントは見やすく整理されており、役立っている「先生は熱意をもって授業を行ってくれる」といった項目の評価が高かった。
		新教育課程の見直し	令和7年度教育課程の変更を一部実施した。	教務 A	教育課程変更により、適切な選択科目を設置することができた。より良い探究学習の実施に向けて、今後さらに検討を進めていく。
		新観点別評価の総括	新課程完成年度となり、各教科で実施状況を振り返った。	教務 A	これまでに教科主任会2回実施した。さらに2回開催して議論を深めた上で、職員会議に令和7年度以降の評価の在り方を検討・決定予定である。
		「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒75%	生徒アンケートの結果 84.0% R5 84.9% R4 83.2% R3 78.5% R2 85.0%	企画研究 指導主事 学年 A	探究学習において、「論理的な道筋の予測」はディベート、「課題解決のための計画」は市役所プランで主に扱っている。毎年、目標を達成できている。
		探究学習（「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」）の充実	毎週行われる会議で授業内容を見直した。授業での活動成果を究タイム発表会などで発表した。	企画研究 指導主事 学年 A	会議を行うことで、授業内容の改善ができた。多くの生徒が課題を見つけ、情報を収集してまとめるスキルを身に付け、主体的に探究学習に取り組むことができた。

エ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	PTA後援会合同総会・懇談会の出席率 50%	今年度も総会、学科別説明会、懇談会を同日で開催した。総会は約 24%、学科別説明会と懇談会は約 35%の出席率だった。	総務 B	平日開催で共働きの保護者も多く出席が難しいこと、また、学校行事や三者面談等で保護者が来校する機会も確保されていることもあり出席率は良好ではなかったが昨年度よりも上昇した。出席できなかった保護者には確実に資料が渡るよう、引き続き学年・分掌と連携をとっていきたい。
		「本校が地域に開かれた学校とを感じる」保護者 85%	学校評価アンケート 87.9% (前年比-0.3%)	教頭 地域交流 A	地域交流活動を積極的に行い、その都度活動内容について学校HPに掲載した。
		各部活動、または本校生徒参加ボランティア活動等の地域交流の実績 80 回以上(令和 5 年度は 107 回)	① 多世代交流サッカー 10 回実施 ② 人工芝で遊ぼう 2 回実施 ③ 学校 De 学ぼう(富士市社会教育課と共催) 2 回実施 ④ Def(聴覚障がい者)キッズサッカー教室 9 回実施 ⑤ 部活動を含む地域交流事業 105 回実施 ※4月から12月までの実施分をカウント	地域交流 A	① 参加人数述べ 387 人 ② 本校参加生徒 97 人、参加者 166 人(園児・引率教諭・未就学児とその保護者) ③ 本校参加生徒 115 人、小学生 104 人 ④ 本校参加生徒 73 人、参加者 139 人(保護者含む) ⑤ 本校参加生徒 1439 人、参加者 4916 人(観覧者含む) ※4月から12月までの実施分をカウント
		「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員 90%	協議会後に委員アンケートを実施。90%	副校長 指導主事 A	協議会の議論を意識して改善している。 運営会のあと対応を心がけている。
		HP更新週 5 回以上	週 9.8 回。ほぼ毎日、授業、行事、部活動の活動等を投稿した。	教頭 情報図書 A	12 月末までに 392 回の投稿を行った。HPへのアクセス数は 92,181 で、毎年増加傾向にある。
		学校見学会のアンケート満足度 90%以上	中学生満足度 95% (前年比+3%)	教頭 A	9 回の学校見学会に中学生 175 人(-9 人)が参加した。生徒会生徒の校内案内が好評。施設、探究学習、海外研修への関心が高い。
		中学生への説明会での若手教員及び生徒の活用	10 中学校での説明会に参加し、7 人の若手教員による学校説明を行った。生徒は自分スピーチの発表をした。	副校長 A	科や教育課程を中心に説明を行っている高校が多い中、本校は若手の教員による探究学習の紹介を中心に学校紹介を行った。中学生や保護者の印象に残る説明会となった。

様式第3号

		体育館・グラウンド の一般開放年間 200 日以上	4～12 月 体育館：147 日 グラウンド：265 日	事務 B	体育館はE S C O事業、落雷に よる停電の影響により、開放期 間に制限が生じた。
		庭球場の一般開 放年間 180 日以上	4～12 月 庭球場：243 日	事務 A	通年で開放できた。
オ	適正な事 務の執行	消防設備点検・建 築物定期点検に よる指摘箇所の 改善 100%（既存 不適格を除く）	・消防設備点検 指摘 8 箇所→対応済又は 対応中 7 箇所 ・建築物定期点検 指摘 5 箇所→対応済又は 対応中 4 箇所	事務 B	重要度及び緊急性を考慮した 優先順位をつけて予算残額の 範囲内で実施中である。
		ESCO 工事が完了 するため、年間電 気使用量を前年 度－40%削減	4～12 月：387,591kwh 前年度比 132,588kwh の減 ※5年度 520,179kwh	事務 B	大幅に削減されているものの、 目標の削減率には届いていな いため、引き続きエアコンの温 度調整など節電意識が必要で ある。
		コピー機の利用 枚数を前年度比 減	A4換算で 4～12 月：1,325,000 枚 前年度比－27,000 枚 ※5年度：1,352,200 枚	事務 B	デジタル化の推進により昨年 度大幅に削減したところであ るが、更なる削減ができてい る。